

秘

前便君達後更ニ評報ヲ... 一月一二重演... 所有之候得共  
滿洲建國ノ裏面ヲ洞悉スル秘話トシテ街内報中上候

昭和七年三月八日

川島浪速 啓

在京同憂諸賢均鑒

○  
余ハ滿洲國建設ニ関シテ、我軍部ガ全然宣統帝並ニ支那  
人側ノ希望ヲ抑壓シテ強制的ニ共和政體ノ新國家ヲ建設  
セシメノニシテ其裏面ノ消息ヲ掲載スレバ  
一宣統帝ハ頭初ヨリ滿洲蒙古ヲ統治スルニハ歴史上地理  
上、帝制ヲ採ルニ非レバ到底理想ノ治績ヲ奉ゲ難ク且  
ツ溥儀個人トシテモ、永陵福陵昭陵ノ可在地一國誓ノ惡  
史アル共和制ノ總統トシテ臨ムコトハ宗廟一奉告スベ



早稲田大学図書館  
文書27  
G 41



キ詞エラナシトシテ断然共和制ヲ排斥シ若シ共和立國  
ガ新築國ノ基調ナラバ如何ニ強要セラル。モ總統トシ  
テ出處セズト二月初旬軍部ノ特使板垣大佐ノ勸誘ヲ峻  
拒セラレタリ。

二。帝ガ決バノ動カハベカラザルモノ有ルヲ知レル軍部ハ  
直チニ肅孝晉<sup>林其ト</sup>大連ニ格居ヲ奉天ニ招キ共和論者ノ臧式  
教趙汝伯ヲ列席セシメテ  
貴下ガ内部ニ在ラ策動シ宣統帝ニ共和國ノ大統領ト  
シテ出處スルコトヲ允諾セシムレバ新國家ノ國務總  
理トシテ貴下ヲ迎フルコトヲ此席ニ於テ密約スベシ  
ト囑ハスニ利ヲ以テセルヨリ鄭ハ此旨ヲ會ニ旅順ニ  
返ラテ東三省ノ決意ヲ共和ヲ謳歌シテアリ故ニ若

シ此機會ヲ失ハシニ雖龍ノ好氣運ナカルベシトカ  
説シ帝ノ翻意ヲ然シタルモ帝ハ鄭ノ言ニ耳ヲ假サズ  
且ツ羅振玉氏極力ニ反對シタルヲ以テ

鄭ハ一時帝ト軍部トニ救拯ミノ態トナリ苦悶ノ末局面  
打開ノ策トシテ軍部ト臧趙トニ謀リ飽マデテ共和ノ成  
意ナルコトヲ強調セントシ奉天ニ建國打合せノタメニ  
省代表ノ内商議ヲ行フコトニ定メ吉林七名黑龍江四名  
ノ代表ニ對シ奉天代表トシテ二百四十名ヲ列席セシメ  
多數決ニテ共和制ヲ採ルコトニ決シ(第一回會議)同  
時ニ國號年號ヲモ内定セラレ民意共和ニ在ルコトヲ故ラ  
ニ外部ニマノ宣傳セリ。

三。右打合せ會ノ結果ニ付キ吉黑兩省ハ事ノ意外ナルニ驚

キ大ニ共和反對ノ意思ヲ表示シ、殊ニ吉林ノ如キハ清祖  
發祥ノ地ナリトシテ是非トモ帝制ヲ採リタシト民衆ノ  
示威運動ムヲ行ハレ、長官熙洽ハ實業廳長張燕卿ヲ奉天  
ニ差遣シ、奉天ノ詐謀ニ等シキ振舞ヲ難詰セル爲メ、其後  
和策トシテ我々軍部ト趙欣伯等トハ王制共和政体ナル  
古今未曾有ノ禍政体ヲ祭出シ而シテ一面ニ宣統帝ノ聰  
明ヲ遺憾ナク政治上ニ發揮セシムベシトノ條件ヲ加ヘ、  
コノ意味ニ於テ鄭孝胥ヨリ帝ノ内意ヲ伺ハシメタルニ  
帝ハ巖然トシテ朕ハ頭初ヨリ帝制ヲ稱セリ、純然ナル  
王制ニテモ其志ニ反ス、況ンヤ王共離採ノ變態至極ナ  
ルモノニ於テヤト  
一言ノ下ニ再々其出處ノ峻拒セラレタリ。